



まちの話題



いきいき芸術体験教室開催

9月30日(火)午後2時から三加和中学校体育館で歌劇（オペレッタ）が上演され、春富小学校・菊水中央小学校・菊水南小学校の6年生も加わり鑑賞しました。この事業は、熊本県と和水町の教育委員会が共催で行った「いきいき芸術体験教室」のひとつで、郷土文化の会を招いて招いて行ったものです。まず、本格的なオペラを鑑賞した後、中学生も参加してオペレッタが上演されました。オペレッタとは、歌劇の中でもユーモアを交えたもので、初めてという子どもたちがほとんどでしたが、楽しい時間を過ごしました。



第15回肥後民家村のお月見会

10月15日(水)は秋の2回目の満月。雲ひとつない夜空には「まんまるお月様」が浮かび上がり、会場は多くの方で賑わいました。

会場では、野点のふるまい、十五夜市(どじょう汁などの販売)、ステージ上では大正琴、篠笛などのコンサート、日本舞踊、朗読会が行われました。

最後にお楽しみ抽選会が行われ、豪華な賞品が当たると会場からは大きな歓声が沸きあがっていました。



▲ 前野・榎原地区のワークショップの様子

わられました。

また、本村と古閑地区でもアンケート調査が行われました。

「前野・榎原」地域づくり
ワークショップ
9月23日

国土形成計画（国土交通省）の推進のために、全国で20箇所選定された地域のひとつとして、高野（本村・古閑・前野）及び榎原地域での実地調査が行われました。

前野地区の人達は、午前中、国県等の専門家と一緒に地域を流れる清流、神社、記念碑等や、荒れてしまった農地や山の風景を見て歩き写真に撮っていました。午後は榎原公民館で前野・榎原2つの地区のグループに分かれてワークショップ（共同研究作業）が行われ、それぞれの地区の良いところ、困っていることを出し合い、発表し、今後どうして行くのか真剣に話し合いをされました。両地区ともまず自分達が出ることから始めようという声が聞かれ、今後のより良い地域づくりが期待されます。



竈門神楽奉納

10月18日（土）、竈門菅原天満宮で秋の例大祭が行われ、神楽の奉納が行われました。これは、毎年竈門神楽保存会が中心となって行われており、今年は平成20年度コミュニティ助成事業で購入した新たな衣装や道具を身につけ華麗な舞を披露していました。昨年から始まった親子神楽では、親子ならではの息のあった舞をみせており、神楽のクライマックスでは鬼神が登場すると観客からは大きな歓声が上がリ、終始にぎあっていました。



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

※コミュニティ助成事業は、宝くじの普及広報事業費として受け入れる宝くじ受託事業収入により助成されます。



明るい選挙啓発作品 コンクール

和水町明るい選挙推進協議会と和水町選挙管理委員会は、町民の方々に政治や選挙への興味・関心を育むことを目的として、「明るい選挙啓発作品募集」を行いました。

今年は、町内各小学校から習字の部に17点の応募がありました。

和水町明るい選挙推進協議会では、9月26日（金）に審査を行い、入賞作品を決定しました。なお、入賞作品は熊本県のコンクールに出展されます。

入賞者(敬称略)

【習字の部】

「政治」

菊水中央小学校 4年 林 美琴

「投票」

菊水東小学校 5年 原尾 早織

「義務」

菊水中学校 1年 江上穂奈美

「民主政治」

菊水中学校 2年 石原まきの

「地方自治」

菊水中学校 3年 上川 彩乃



老人大学

佐藤固庵・草野潜溪と宝暦の改革と時習館

10月15日（水）あばかん家で老人大学があり、熊本四街道協議会会長の国武慶旭氏から「佐藤固庵・草野潜溪と宝暦の改革と時習館」と題して講演がありました。佐藤固庵（1683年生まれ）は、山十町橋上の医師竹下的庵の子で、学問を修め細川家の近習を務め三百石の藩儒（藩に仕える儒教者）となって、「肥後の先哲」と敬仰されました。その二男の草野潜溪は、熊本城二の丸に設立された「時習館」の初代訓導や銃隊長を務め、助教として学問の指導も行い、藩主・藩士・町人からも深い信頼と尊敬が寄せられました。今も橋上には固庵と潜溪の墓が残っています。

